

つたえるけん 波佐見町

長崎県を代表するやきものの里、波佐見町
「ものづくり」と観光を融合した
クラフトツーリズムに力を入れています



今日のつたえるひと **三浦裕介さん**

福岡県北九州市出身。20~30代は中国やアメリカなど海外勤務を経験。その後、北九州市立大学に入学し、地方創生やまちづくりについて学ぶ。2019年5月から(一社)波佐見町観光協会事務局長。



鬼木棚田

虚空蔵山の裾野に広がる、日本の「棚田百選」にも選ばれた名勝地です。石垣であぜを築き、段々に重なった棚田の風景は美しく、訪れる人の心を和ませてくれます。9月には「鬼木棚田まつり」が開催されます。



やきもの公園

古代から近世にかけての世界を代表する窯12基を再現した「世界の窯広場」が見どころ。日本古来の野焼き窯や登り窯をはじめトルコやイギリスのレンガでできた美しい窯など、さまざまな形の窯が展示されています。



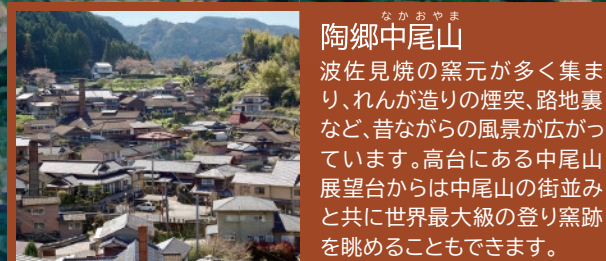
波佐見町陶芸の館・観光交流センター

波佐見町の観光交流の拠点施設で波佐見町観光協会もこの中にあります。1階の「くらわん館」では地元特産品の販売や町内36社のメーカー・商社の器を展示販売し、2階は波佐見焼の資料館になっています。



西の原地区

波佐見町講堂や昔ながらの食堂、駄菓子店、波佐見焼の旧製陶所の建物を利用した雑貨店やカフェなどがある、波佐見町で最もにぎやかなエリアです。



陶郷中尾山

波佐見焼の窯元が多く集まり、れんが造りの煙突、路地裏など、昔ながらの風景が広がっています。高台にある中尾山展望台からは中尾山の街並みと共に世界最大級の登り窯跡を眺めることもできます。



畑ノ原窯跡

1599年、朝鮮の陶工で大村藩に帰化した李祐慶が畑ノ原に築き、初めて磁器を製作したといわれる朝鮮式連房登窯を復元したもの。磁器窯としては日本で最も古く考古学的にも貴重な史跡です。(国指定史跡)

クラフトツーリズムを軸に 観光地経営を成功させたい

社会人学生として大学で地方創生やまちづくりについて学んだ後、地域経営の分野で仕事を探している中で波佐見町観光協会にご縁がありました。赴任する2カ月前に初めて波佐見町を訪れたのですが、空気がきれいでいい所だなというのが第一印象でした。その後、地元の人たちの温かい人柄やおいしい食べ物、温泉といった魅力に触れるうち、住み心地の良さを実感するようになりました。自然が大好きなので、夏にカブトムシが家に飛んできたり、ヒグラシが鳴いていたりすると、それだけで癒されます。

波佐見町は言うまでもなくやきもの里として有名ですが、近年はおしゃれなカフェや雑貨店が集まる西の原地区の観光客が訪れています。この小さな町を訪れる人数としては驚異的なのですが、一方でその90%以上の人たちは日帰りで、一人当たりの観光消費額はそこまで高くないという現状があります。そこで、行政と窯元、観光協会などが連携し、「クラフトツーリズム」に力を入れていきます。これは、窯元での製作見学や職人との交流、ろくろ回しや絵付け体験、そして自然を生かした農業体験などの魅力ある体験メニューを提案することで、観光客の皆さんにより長く滞在していただくという取り組みです。令和2年度中には町内に車中泊施設が完成するほか、近い将来にグランピング施設(一般のキャンプ場より設備の整った贅沢なキャンプ場)をつくる構想もあります。

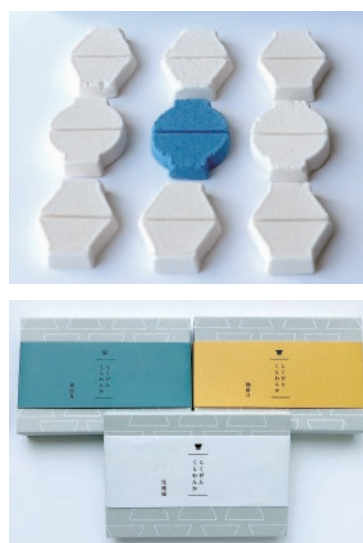
波佐見町観光協会は、今年度から「観光地域づくり法人(DMO)候補法人」として新しいスタートを切る予定としており、今後はさらに経営の視点に立った地域づくりの舵取りが求められます。波佐見町には考え方が柔軟で、新しい事に挑戦したいという気持ちを持った方が多いので、皆さんと知恵を出し合いながら観光地経営についてじっくり考え、訪れるお客様を満足させる仕掛けを充実させていきたいです。

はさみ夏まつり

のどかな田園風景の中で開催される波佐見町恒例の夏祭り。遮るものが何もない田んぼの中から打ち上げる約1,000発の花火を間近で楽しむことができます。
※状況により中止になる場合があります
と き: 8月28日(金) 18時~21時
と ころ: はさみ温泉「湯治楼」周辺(波佐見町長野郷558-3)
問 合 せ: 波佐見町観光協会 ☎0956-85-2290

波佐見観光がさらに便利に! 「はさみ観光案内所」

6月20日、波佐見・有田インター近くに「はさみ観光案内所」がオープンします。波佐見町の観光案内・情報発信などのほか、レンタサイクル(4時間500円、8時間1,000円)やレンタカー(料金などは車種によって異なる)の申込みも受け付けます。
場 所: 波佐見町折敷瀬郷89-3
営 業 時 間: 10時~18時 定休日: 水曜日
問 合 せ: ☎0956-59-6280



波佐見町のお土産

らくがんくらわんか

波佐見町を拠点とするクリエイター集団「金富良舎」が企画開発したお菓子。陶器の産地、波佐見の風景をかたどった口溶けの良い落雁(3種類、1箱9個入り)です。
※波佐見町内の4店舗(くらわん館、No.1210、HANAわくすい、アイユー)で販売中

表紙のはなし『波佐見町講堂』

1937年、波佐見尋常高等小学校の講堂兼公会堂として建てられたもので、昭和初期の木造洋館として大変貴重で、2010年に国の登録有形文化財に指定されました。現在は多目的ホールとして利用され、音楽イベントなどが行われています。

お出掛けの際は開催状況を事前にウェブサイトやお電話でご確認ください。